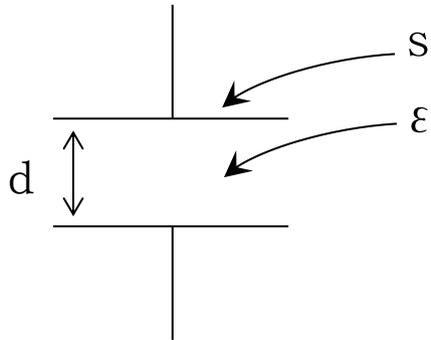


$$C = \epsilon \frac{S}{d} \text{ について①}$$

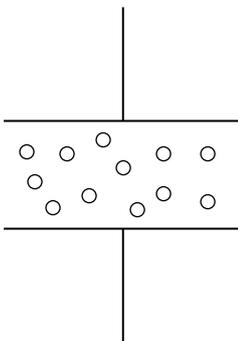


図のような極板面積 S、
極間距離 d、

誘電率の平行平板コンデンサの静電容量 C は、

$$C = \epsilon \frac{S}{d} \text{ で求められますね？}$$

今回は d について考えてみます。



のように電荷が極板間に蓄えられるのだから

“ d が大で C が大 ”

となるのでは？

それなのにナゼ、d が大で C が小となる式 ($C = \epsilon \frac{S}{d}$) なのかわからない！

という方いませんか？

つづきは次回